

# 陰核派

## 週刊

2024年  
7月 第3週

発行元  
**最前線**  
anarcho.clitorist@gmail.com  
担当・記事 仁科 夏瑚  
記事 パノプティコンの真ん中にいる人

保存用 紙版  
1ヶ月 500円

月毎に郵送いたします。  
詳細は上記連絡先まで

「自立」と「協力」のもとに集え

**クリトリリスはアナーキストである！**

カトリニュー・マラプー  
『抹消された快楽 クリトリリスと思考』より



## ろくでなし子 よい子の科学まん個展

新宿眼科画廊で、ろくでなし子氏による個展「よい子の科学まん個展」が開催された。本展示はろくでなし子氏の十年ぶりの個展となる。同氏は二〇一一年ごろから自身の女性器をスキャンした3Dモデルを用いた作品同氏「デコまん」や、二〇一三年にはそれをカヌーにした作品「まんボート」を製作。これらの作品を現地で見ることができた。

その後、二〇一四年には「まんボート」制作費用支援の報酬として、作品に使用した3Dデータを送付。さらには、「デコまん」三点を女性向けアダルトショップ内で展示したことで、二度の逮捕を受ける。罪状はわいせつ物頒布など。立体物展示は二〇一六年に無罪判決を勝ち取り、データ送信は二〇二〇年に最高裁で四〇万円の罰金で確定した。

私たち陰核派にとっても、女性器の不可視化という問題は最も重要な主題の一つだ。たしかに、「まんこ」と「陰核」



ではその意図する部分は異なる。同氏は、「人間はまんこから生まれてきた」ことを強調しており、「まんこ」を出産器官として捉えている側面は大きい。

一方で、陰核派としても、女性の「陰核」としてのあり方によって、「まんこ」としてのあり方を上書きすることは望んでいない。また、本展示のキャラクター「まんこちゃん」の上部にもしっかりとクリトリリスは描かれている。「まんこ」はクリトリリスとヴァギナが一体となって初めて成立する。それらを一体として捉える「まんこ」という表象にも敬意を表したい。

また、同展示施設では、増田ひろよ氏による展示「正しい娘。ー愛と詐欺ー」も開催されていた。展示室に入ると、中央にはミラーボールのように回転しながら光る衝撃的な陰茎像。さらには、周囲に散りばめられた「私ってかわいそう」のアクスタ、

巨大な「地獄」の文字が。増田ひろよ氏は二〇一三年ごろから歌舞伎町やパッチワーク、男性器などをテーマに活動してきた。中央の男性器によって表現されているのは、「男性器に対する愛憎」だという。また、「私ってかわいそう」や「地獄」の文字には、母娘間で連鎖する呪いや、性産業における承認欲求の生態系などが表現されている。

展示室の隣では、ドネーションNZE「月刊いただき女子」の創刊号も頒布された。「地獄のシスターフッド」としての頂き女子りりちゃんの実践が紹介される。印象的なのは、「今日のATMおぢ」のページ。これまで、りりちゃん本人ばかりが注目されてきたが、「共犯者」としての「おぢ」という存在もまた重要だ。今後も、同氏の活動を追っていききたい。

(文・仁科夏瑚)



## 正しい娘。ー愛と詐欺ー 増田ひろよ

**919レスポンス**  
漫画：仁科夏瑚

上の者に対応方法を確認いたしましたので、少々お待ちください

この人、頼んでないのに商品来たちゅってます どうしたらいいですか？

グワイ!!

えっとねー... その場合はたしか、うーん、マニュアルのー ちょっと待ってね

あつ 見つけた! あつられたちゅったね じゃあこっちから電話発信し直して、今から言う通り必要事項伝えてください

ウー

ガチャ ツーッ ツーッ

## 奈良民俗博物館 資料廃棄は必然?

奈良県立民俗博物館の展示室の公開が、今日5日から休止される。目的は主に収蔵品の整理とされ、山下知事(維新)は10日、「同じような農機具を保管し続ける意味がどこにあるのか」と発言した。

知事のこの発言には、「維新の文化軽視の象徴だ」とネット上で非難が集まっている。しかし、ネット上の議論には当事者たる博物館の声がない。そこで、筆者は10日、取材に赴いた。



到着後、筆者は館内ツアーに参加した。最寄り駅「近鉄郡山」からバスで20分弱というアクセスにも関わらず、館内にはツアー参加者だけで80人以上いた。ただ、展示は明治後期から昭和中期までの奈良の産業史や、農機具・日用品の変遷に終始しており、「性」の要素は捨象さ

れていた。

ツアー終了後、担当の学芸員に取材した。聞くに、来客はやはり10日の「公開中止」報道後増えたものというようであった。そして、「休館」自体、必ずしも「維新のせい」でもないようだった。

現職の山下知事(維新)は、昨年5月、新井前知事(無所属・元自民)を下して就任した。就任後、収蔵品整理に向けた議論が加速度的に進み、今回の話も「極めて政治的な判断」なことは確かであるが、それ以前から議論自体は存在したという。収蔵品は総数4万ほどであるが、展示品はわずか300、館にあるのも1万で、残り1万は廃校などに分かれて保管されておられ、「収蔵スペースが足りない」という問題は慢性的に存在した。また、空調も故障し、額に汗してうちわを手にする来場者も多く、設備改修の面でも休館は急務とのことだった。

ただ、現状について思うところを尋ねると、「(休館は)日本の文化教育軽視の現れ。日本に民主主義の原則が根付いていないものこのツケ。先の都知事選を見ても分かる。」と政府の文化政策に憤りを顕わにした。

博物館は収蔵品整理・改修の上2年再開を目指すとしているが、あくまで「現場の希望」であり、今後は未知数のようだ。(文・パノプティコンの真ん中にいる人)

「抹消された快楽 クリトリリスと思考」より

**夜の山道を襲う  
群馬山賊にご注意!!**

Gunma Prefecture  
**群馬県**

**勝手に戦え!**

バイデンvsトランプ

マンゴー

Truth Social 日本人コミュニティは新規ユーザーを歓迎しています。  
https://truthsocial.com

我が国の作戦に  
少しでも興味を持つと  
おれをばなす  
下のQRコードから  
連絡しよう